

# Java インストール手順書

第 1 1 版

(社) 日本医師会

## 改訂履歴

|     |             |   |
|-----|-------------|---|
| 初版  | 2004年1月23日  | 新規作成  |
| 2版  | 2004年2月3日   | 「フォントの設定」を追加  |
| 3版  | 2004年7月13日  | 「リソースファイルのダウンロード」を追加。<br>バージョン番号表記を変更   |
| 4版  | 2005年11月21日 | 「リソースファイルのダウンロード」を修正。<br>ホームディレクトリ、ユーザ名の記述を修正。  |
| 5版  | 2006年10月10日 | 全面改訂。   |
| 6版  | 2007年12月13日 | /usr/localへインストールする形態から、Debianパッケージとしてインストールする形態へ移行。<br>対象JDKバージョンを1.5 Update9へ。<br>aptlineからのインストール、Etch対応 |
| 7版  | 2009年5月22日  | Ubuntu Hardy 対応   |
| 8版  | 2010年8月25日  | Ubuntu Lucid 対応   |
| 9版  | 2012年1月26日  | OpenJDK 移行  |
| 10版 | 2012年10月12日 | Ubuntu Precise 対応   |
| 11版 | 2014年11月27日 | Ubuntu Trusty 対応  |

# 目次

|                      |   |
|----------------------|---|
| はじめに.....            | 4 |
| 概要.....              | 4 |
| 必要なもの.....           | 4 |
| 本書での表記方法.....        | 4 |
| OpenJDK について.....    | 5 |
| インストール.....          | 5 |
| 必要なパッケージのインストール..... | 5 |
| 別バージョンの切り替え.....     | 7 |
| 動作確認.....            | 8 |
| アンインストール.....        | 8 |

# はじめに

## 概要

本書は日医標準レセプトソフト(以下、日レセ)がインストールされているLinuxにパッケージ版のJavaをインストールする手順を記載したものです。

## 必要なもの

Javaのインストールには、ネットワークに接続された、日レセが動作するLinuxマシンが必要です。

Javaのインストール時に aptitude コマンドを使用したり、ファイルのダウンロードを行ったりしますので、インターネット接続が可能な状態にしておいてください。

## 本書での表記方法

Javaのインストール作業は主にスーパーユーザで行い、Ubuntuのターミナルでのコマンド入力が必要になります。

本書では以下のようにコマンド入力を枠の内側に表記します。

```
$ sudo -i

[sudo] password for user:

# ifconfig

eth0   リンク方法:イーサネット   ハードウェアアドレス  **:**:**:**:**:**

        inet アドレス:192.168.1.10   ブロードキャスト:192.168.255.255   マスク:255.255.128.0

(略)

# exit
```

1行目の「\$ sudo -i」のように、行の頭に「\$」がある時は、一般ユーザ(ORCAユーザなど)のコマンド入力を表します。

また、3行目の「# ifconfig」のように「#」が行の頭にある場合はスーパーユーザでのコマンド入力を表します。

他の行はコマンドに対する出力結果を表します。

「(略)」はコマンド出力の一部を省略してあることを表します。

# OpenJDK について

新規インストール時は OpenJDK をインストールを推奨します。

## インストール

### 必要なパッケージのインストール

以下のコマンドを実行し、パッケージをインストールします。

```
$ sudo apt-get update
$ sudo apt-get install default-jre
```

パッケージの依存関係により他のパッケージもインストールします。

```
パッケージリストを読み込んでいます... 完了
依存関係ツリーを作成しています
状態情報を読み取っています... 完了
以下の特別パッケージがインストールされます:
  ca-certificates-java default-jre-headless fonts-dejavu-extra java-common
  libatk-wrapper-java libatk-wrapper-java-jni libgconf2-4 libgif4
  openjdk-7-jre openjdk-7-jre-headless tzdata-java
提案パッケージ:
  equivs icedtea-7-plugin icedtea-7-jre-jamvm sun-java6-fonts
  fonts-ipafont-gothic fonts-ipafont-mincho ttf-wqy-microhei ttf-wqy-zenhei
  ttf-telugu-fonts ttf-oriya-fonts ttf-kannada-fonts ttf-bengali-fonts
以下のパッケージが新たにインストールされます:
  ca-certificates-java default-jre default-jre-headless fonts-dejavu-extra
  java-common libatk-wrapper-java libatk-wrapper-java-jni libgconf2-4 libgif4
  openjdk-7-jre openjdk-7-jre-headless tzdata-java
アップグレード: 0 個、新規インストール: 12 個、削除: 0 個、保留: 0 個。
41.8 MB のアーカイブを取得する必要があります。
この操作後に追加で 66.5 MB のディスク容量が消費されます。
続行しますか? [Y/n] y
```

… (省略)

update-alternatives: /usr/bin/java (java) を提供するために 自動モード で  
/usr/lib/jvm/java-7-openjdk-amd64/jre/bin/java を使います

update-alternatives: /usr/bin/keytool (keytool) を提供するために 自動モード で  
/usr/lib/jvm/java-7-openjdk-amd64/jre/bin/keytool を使います

update-alternatives: /usr/bin/pack200 (pack200) を提供するために 自動モード で  
/usr/lib/jvm/java-7-openjdk-amd64/jre/bin/pack200 を使います

update-alternatives: /usr/bin/rmid (rmid) を提供するために 自動モード で  
/usr/lib/jvm/java-7-openjdk-amd64/jre/bin/rmid を使います

update-alternatives: /usr/bin/rmiregistry (rmiregistry) を提供するために 自動モード で  
/usr/lib/jvm/java-7-openjdk-amd64/jre/bin/rmiregistry を使います

update-alternatives: /usr/bin/unpack200 (unpack200) を提供するために 自動モード で  
/usr/lib/jvm/java-7-openjdk-amd64/jre/bin/unpack200 を使います

update-alternatives: /usr/bin/orbd (orbd) を提供するために 自動モード で  
/usr/lib/jvm/java-7-openjdk-amd64/jre/bin/orbd を使います

update-alternatives: /usr/bin/servertool (servertool) を提供するために 自動モード で  
/usr/lib/jvm/java-7-openjdk-amd64/jre/bin/servertool を使います

update-alternatives: /usr/bin/tnameserv (tnameserv) を提供するために 自動モード で  
/usr/lib/jvm/java-7-openjdk-amd64/jre/bin/tnameserv を使います

update-alternatives: /usr/bin/jexec (jexec) を提供するために 自動モード で  
/usr/lib/jvm/java-7-openjdk-amd64/jre/lib/jexec を使います

… (省略)

default-jre インストール時に入る、openjdk-7-jre は Java の動作に必要なパッケージです。  
すでにインストールされている分については省略してもかまいません。

以上でインストール終了です。

## 別バージョンの切り替え

システム上に複数の Java、Java 互換パッケージがある場合、update-alternatives コマンドで切り替えることができます。

以下のコマンドを入力します。

```
$ sudo update-alternatives --config java
```

この場合、OpenJDK-6 が選択されています OpenJDK-7 に切り替えるには、'2' を入力して、完了してください。

```
$ sudo update-alternatives --config java
```

alternative java (/usr/bin/java を提供) には 2 個の選択肢があります。

| 選択肢 | パス   | 優先度  | 状態    |
|-----|--|------|-------|
| 0   | /usr/lib/jvm/java-7-openjdk-amd64/jre/bin/java | 1071 | 自動モード |
| * 1 | /usr/lib/jvm/java-6-openjdk-amd64/jre/bin/java | 1061 | 手動モード |
| 2   | /usr/lib/jvm/java-7-openjdk-amd64/jre/bin/java | 1071 | 手動モード |

現在の選択 [\*] を保持するには Enter、さもなければ選択肢の番号のキーを押してください: 0

OpenJDK が選択されます。

```
update-alternatives: /usr/bin/java (java) を提供するために 自動モード で  
/usr/lib/jvm/java-7-openjdk-amd64/jre/bin/java を使います
```

## 動作確認

以下のコマンドを実行し、出力が確認できれば正しくインストールされています。

```
$ which java
/usr/bin/java
$ java -version
java version "1.7.0_65"
OpenJDK Runtime Environment (IcedTea 2.5.3) (7u71-2.5.3-0ubuntu0.14.04.1)
OpenJDK 64-Bit Server VM (build 24.65-b04, mixed mode)
```

バージョンおよびビルド番号は異なる場合があります。

## アンインストール

Javaをアンインストールする手順は以下のとおりです。

Javaパッケージを削除します。

```
$ sudo apt-get remove openjdk-7-jre
```

以上でアンインストール終了です。